

GREETING

代表の想い

T.S.branchにご興味を持っていただき、ありがとうございます。代表の横田宙士です。

私の姉はダウン症です。そのために、これまで何度もイヤな思いをしてきました。

世間に目を向ければ、障害者用駐車場に平然と駐車する健常者、グループホームの建設に反対する近隣住民、我が子の障害を認められない親、知識の少ない支援者や行政、本当に必要としている人や場所に届いていないお金や制度……。

障害のある家族とともに生きてきたからこそ、思うこと、感じてきたことが、本当にたくさんあります。

親の会や行政、専門の先生方が一生懸命に活動している一方で、現実には、先に挙げたような状況がまだまだ続いているのも事実です。

日本のなかで、障害者やその家族・支援者は全体の1割程度と言われています。残りの9割の人は、日常のなかで「障害」と関わる機会がほとんどありません。その中には、「障害者のために役に立ちたいけれど、よくわからない」と感じている人もたくさんいます。

すなわち、障害者本人の前に、「障害者のことを知ること自体にハードルがある」――

私はそれを『障害者への障害』と呼んでいます。

この9割の人たちに向けて、障害や障害のある人のことを、わかりやすく、ていねいに伝えていく。

それが、『障害者への障害をなくす』ことにつながる。

そして、障害のある人と、いわゆる一般の人との「ちょうどいい関係」をつくる一歩になると信じて、事業を立ち上げることを決めました。

T.S.branchは、従来とは少し違う視点から、障害と社会の関係にアプローチしていきます。

その歩みが、障害という境界線をすこしずつ溶かしていく一助となるよう、皆さまのご理解とご協力を賜れば幸いです。



VISION

多様性が語られる今でも、障害者への理解はまだ進みにくい。T.S.branchは「一般の方の理解」をひらき、どこにいても障害者がいることが自然な社会を目指します。

01

一般の方の理解

知らなかったを「わかる」に変える

02

支援者への支援

支える人を支えていく

03

ちょうどいい環境

距離感と選択肢をデザインする

募集について

現在、T.S.branch ではキャンプ場事業の本開業に向け、施設の建築・準備を進めています。立ち上げ期から関わり、現場をつくりながら改善していける仲間を募集しています。

TIMETABLE	建設工事中(準備期間) 2026年4月採用		1次工事完了(テスト運用期間) 2027年4月採用
A 一般勤務	週5日勤務(土日祝休み)	▶ 移行	週1回の宿直勤務(24時間) 週2日は日直勤務 ※残り3日は休日
勤務内容	建物設計やオペレーションの打合せ、 備品購入や各種事務作業など		実際の建物と勤務サイクルでテスト運用。 改善点の変更し本開業を目指す
B シェフ見習	週5日勤務(土日祝休み)	▶ 移行	週4日勤務(10時間) ※残り3日は休日
勤務内容	ヴィラ、BBQ食材などのメニューの開発、 試作		完成したレストランやラウンジで 実際に調理運営テスト
募集人員	適任者がいれば1~2名		3~5人(予定)

※1か月の変形労働時間制を採用予定
「1か月の変形労働時間制」とは労働基準監督署への届出認可を経て、1ヶ月以内の期間を平均して、1週間の労働時間が法定労働時間を超えない範囲で、日や週ごとに労働時間を調整できる制度です。

募集する人材

決められた作業をこなすだけでなく、常に問題意識をもち、状況に応じてアイデアを出し、より良い形へ改善していける方を求めています。

ポータルサイト事業への関わり

T.S.branch は、キャンプ場事業に加えて障害について分かりやすく伝える「ポータルサイト事業」も展開します。特別な専門スキルは必要ありませんが、キャンプ場業務の開散期などには、リサーチや企画、アイデア出しといったポータルサイト業務にも参加していただきます。(一般勤務・シェフ共通)

応募方法



障害者業界に、これまでにないカッコよさを。立ち上げ期だからこそできる挑戦があります。その一歩を、一緒に踏み出してくれる仲間をお待ちしています。

フォーム



株式会社T.S.branch
本社住所: 〒184-0004 東京都小金井市本町4-19-2
https://www.ts-branch.co.jp MAIL: yokota@ts-branch.co.jp
事業拠点: Calmdown Special Camp(長野県佐久市根岸1255-48)

T.S.branch
Website



C.S.C.
Google Maps



TOWARD AN INCLUSIVE WORLD.

CREW MEMBER WANTED!

“障害者への障害をなくす”仲間を募集。

T.S.branch が進むベクトルは、利益追求や所有の拡大のためではありません。

一つひとつの出会いと気づきを重ねながら、“旅”のように続いていくプロジェクトです。

私たちが未来に手渡したいのは、「障害という境界をなくす」という、揺るぎない理念。

障害のある人も、健常とされる人も、すべては“個性”という、一つの光。

その光を曇らせてきた偏見や固定観念をほどこ、誰もが当たり前を支え合える社会を、

具体的なかたちにしていきます。



CAMPSITE BUSINESS

キャンプ場事業

インクルーシブな世界を目指す障害を解放するフィールド

知的障害のある方とご家族のためのキャンプ場

— Calmdown Special Camp

SAKU CITY
NAGANO
JAPAN



POINT

日本初の「障害者が主語」のキャンプ場

対象：知的障害のある方とご家族（肢体不自由の方を含む）

特徴：刺激への配慮／適切な距離感／過ごし方の選択肢

知的障害のある方は、外見から分かりにくい特性ゆえに、一般のキャンプ場では周囲の理解が追いつかず、不安や緊張から落ち着いて過ごせないことがあります。その結果、「迷惑をかけてしまうかもしれない」という思いから、外出やレジャーをあきらめてしまう家族も少なくありません。日本には身体障害者向けのバリアフリーキャンプ場はありますが、知的障害の特性に配慮して企画・設計されたキャンプ場は、前例がありません。Calmdown Special Camp は、知的障害のある方が安心して自然を楽しめ、その家族や支援者も心からくつろげる「日本初の試み※」として生まれました。（※2025年11月26日付 信濃毎日新聞 掲載）
まずは知的障害のある方とご家族・支援者を主な対象にスタートし、将来的には一般の方も自然に訪れ、焚き火や星空の下で「一緒に楽しむ」体験を共有できる場を目指します。Calmdown Special Campは、2027年、長野県佐久市に誕生予定です。



設計／デザイン：株式会社ユナイテッドパシフィックス

※デザイン実績：世田谷ベース／SHOZO CAFE／丸山珈琲／DELPHONICS 等

信州移住マガジン
「moves.」
記事はこちら



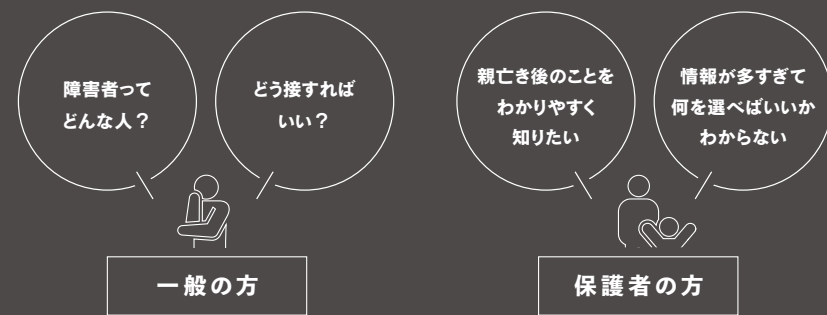
PORTAL SITE BUSINESS

ポータルサイト事業

「障がい者」と一言で言っても、実際には大きく知的障害・精神障害・身体障害の3つに分かれ、それぞれ特性や必要な配慮は大きく異なります。しかし現実には、専門用語が多く、説明は長く、「結局よくわからない」で終わってしまう情報がほとんどです。T.S.branchのポータルサイト事業は、障害のことを“まったく知らない人”に向けて、できるだけシンプルに、わかりやすく伝えることを目的としています。難しい説明や長い動画ではなく、読んだ人が思わず「なるほど、そういうことか」と肩の力を抜いて理解できる——そんな“入り口”になるサイトを目指しています。



想定している主な対象



このポータルサイトは現在構想段階で、「どんな情報があれば役に立つか」から一緒に考えていく事業です。キャンプ場事業の閑散期には、リサーチや企画、アイデア出しなどにも関わりながら、障害者業界の“わかりにくさ”をほどいていく役割を担ってまいります。



RECRUIT

採用情報

「障害者業界って、ちょっとハードルが高そう」そんな印象を持っている方にこそ、T.S.branchは意外とフィットするかもしれません。私たちが目指しているのは、従来の「福祉施設」や「支援の仕事」とは少し違うかたちです。

あえて「株式会社」という選択

障害者分野の多くは公益法人やNPOによって支えられていますが、制度や仕組みの制約から、スピード感をもって新しい挑戦をしづらい側面もあります。T.S.branchは、より自由度の高いスタイルで、障害者や家族、支援者にとって“本当に機能する仕組み”をつくるため、株式会社を選びました。

キャンプ × デジタルが仕事の軸

T.S.branchの主な事業

- 知的障害のある方とご家族のための キャンプ場運営
- 障害について分かりやすく伝える ポータルサイト事業

日常生活の介助を中心とする仕事ではなく、環境や体験、情報をデザインする仕事です。そのため、私たちが求めているのは、**キャンプやアウトドアが好き・得意な人、写真・動画など、コンテンツづくりが好き・得意な人**この両方の視点を持てる方です。

障害者業界に、カッコよさを

T.S.branchは、いい意味で「障害者業界っぽくない」存在でありたいと考えています。**働き方・労働環境・服装やコミュニケーションのスタイル**細かなところまで含めて、“ちゃんとカッコいい障害者業界”をつくることにこだわります。

求める人物像

まず大切なのは、障害のある人に対してやさしい目線を持つこと。そのうえで、
・障害者業界を新しい視点から変えていきたい方
・アウトドアとデジタル、両方に興味がある方
・決められた作業だけでなく、考えながら改善できる方を歓迎します。
専門知識や業界経験は必須ではありません。研修や現場での学びを通して、少しずつ身につけられる環境を整えていきます。